

はりまや STORY

はりまや界隈面白情報満載です。ご自由にお取り下さい。

令和4年 1月・2月号

2022年 **1月30日(日)**
～高知オーガニックフェスタ～

今年は **はりまや橋商店街** で開催!



同時開催 **新春** スペシャル! トークセッション 参加費無料

「what a ワンダフル ワールド!」【会場】
～大地が命が知っている未来～ Bee Station (高知市はりまや町1-5-18)

スケジュール
11:00～15:00 出店者による農産物の試食と販売
16:30 開場 / 17:00 開演予定
新春スペシャル! トークセッション

主催: 高知オーガニックフェスタ実行委員会 (NPO法人 高知県有機農業研究会内)
共催: 高知県 高知市
お問い合わせ・事務局
Mail: kof2019@ko-yuken.org (NPO法人 高知県有機農業研究会)
TEL: 088-824-8381 (株式会社 桃山商店)

【WEB】https://ko-yuken.org 高知オーガニックフェスタ



高知に移住して8年目です。高知に住んで初めて『食は命の根幹』ということが腑に落ちました。頭では理解していましたが、心から納得できたのは高知のお陰です。『地球そのものを感ずる大地のチカラ、肌を刺す太陽、水面に口をつけて飲めるほどの清流、心をたおやかに育む太平洋。全てを吸収して育つ農作物は生命力にあふれ、噛むとエネルギーが弾けるほど。これはちぎればかりの作物や加工品を、帯屋町商店街に集結する高知オーガニックフェスタで初めて目撃した時、興奮して気絶しそうでした。ここが『命のど真ん中』で、私たちの生きたい未来の姿だ!』と思いました。

今回、高知オーガニックフェスタの実行委員長に就任されたとお伺いしました。『はい、そうなんです! 私は映画監督ですから、どうしても嬉しくて。天しでしたが、とても嬉しくて。出身地の東京では、有機野菜などを食べる機会はありませんでした。』

『私は東京の麻布十番商店街で生まれ育ちました。商店街は街の元気の源で、元気を通す血管のようなものだと思います。はりまやマルシェなど、はりまや橋商店街には娘と一緒に何回も足を運んだことがあります。今回このあたかな商店街の皆さんと出会うことがとても嬉しいです。』

『子どもも楽しくお母さんも安心して、お買い物ができるような環境を準備しようと思っています。オーガニックフェスタの皆さんとの出会いのきっかけになった、私がディレクションと代表を務める、全ての子どもが笑顔の未来を描く異業種チーム「わっしょい」もブー



地域生態系を守り活用し、自然と共存する。高知オーガニックフェスタは、そんな有機農業の考えに共感する人たちが集まり、楽しく交流できる場。

今回、実行委員長に就任された映画監督の安藤桃子さんにお話を伺いました



たちとの会話だと思っています。勿論、日曜市も大ファンですが、オーガニックフェスタは、まず、高知の「というだけでも濃い」のに、そこからさらに濃縮率を何倍にもあげ、強者だけが揃う場。全国のトップアイドルが集結しているような、キラキラ、クラクラする特別な日です。』



はりまや STORY

パン田物語 松田フェニックス



新年よりペンネームを、フェニックスバーガーから松田フェニックスに改名しました。今年から、パン田の、ゆるくシュルな日常を描いていこうと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

待ち合わせし、いろいろお話をさせていただきました。痩せていらつしやる美砂さんが、実はもつと痩せられていて「最近太ってしまっ...」とお話しされれば、すかさず「よきこいで痩せられますよ!」と、以前もつと太っていた太っている私がアドバイスするといった...漫画のように幸せな時間が過ぎて行きました。

朗ジャムさんの素敵なジャム作りの様子は、是非こちらからご覧になってください。

Green citrus project HP (https://www.citrus-yuzu.com)

はりまや
STORY
ご協賛各社



和田ラヂヲさんの漫画は、はりまや界隈の飲み屋さんに貼られているアサヒビールのポスターでもよくお見かけしていましたので、とても身近に感じていました。そして、フェニックスバーガーではSTORYの配本に行く度に増えている、和田さんの手描き色紙に会えるのを楽しみにしていました。



和田ラヂヲさんは、朗ジャムという工房でとても素敵なジャムを製作されていて、今回、Green citrus project (グリーンシトラスプロジェクト)、土佐学協会「土佐の酢みかん文化研究会」、そして茶舗若草園のコラボイベント「土佐の酢みかんマーレードと土佐茶を楽しむ会」の講演のため、ご来高。お2人との出会いのきっかけとなったフェニックスバーガーで



編集後記
飲食店のスポンサーさん感激により、2022年の継続は絶望的だった「はりまや STORY」ですが、なんと! ナイスなタイミングでお声がけくださったのが、映画監督の安藤桃子さん! そして、早く掲載協力くださった、和田ラヂヲさん、和田美砂さん。早く特派員になって下さった、ワインカフェヴィクスの水野店長。新しいキャラクターを考えてくれた松田フェニックスさん。いつも魅力的な情報をくださる商店街の方々。気がつけば、元気な頁が仕上がっていました! はりまやSTORYの紙面の中でコラボした人々が、お互いに興味を持たれ、また新しいコラボが生まれるという場面が、今年もたくさん生まれますよう!

詳しい内容のお問い合わせはこちら
TEL.090-3784-3307 FAX.088-894-5855
※取材で留守にすることが多いので、ご用件はFAXで頂けるとありがたいです。

●発行部数:5,000部 ●令和4年1月10日発行
●第22巻第1号通巻106号
●企画・制作・デザイン・発行 / アトリエよくばりリス
〒780-0301 高知市春野町弘岡上1176-2
[携帯] 090-3784-3307 [e-mail] korisu@lime.ocn.ne.jp

今までのバックナンバーは @はりまやSTORY からご覧になっていただけます。

広告料金 20,000円
12cm×12cm
広告のお申込はこちらまで
TEL.090-3784-3307
はりまやSTORYは2ヶ月に一度5,000部発行。はりまや町界隈のポスティングもしています。





金曜はりまや市に 四万十産焼き栗！



金曜はりまや市に「四万十産焼き栗」が目見えました。『いちじやもの』の前を通る度に気になっていた「焼き栗」ののぼりとPOP。ランチをいただきながら、早速買いに行ってみました。お店で「今度の金曜はりまや市にも出店します」という情報をいただき、早速、水野特派員に依頼。QRコードの動画を撮影してもらうことができました。商店街に香ばしい焼き栗の香りと湯気を漂わせている様子を、是非ご覧になってください。



木造アーケードに、日ノHayatoさんの勇ましい太鼓の音が染み渡っていました。新春恒例となりました書道家の高野奇嶺さんによる書道パフォーマンス。今年は、太鼓の音に乗せられて一段と躍動感のある作品となりました。仕上がった作品は、はりまや橋商店街の西入口に吊られる予定です。是非ご覧になってください。

書道家の高野奇嶺さん&太鼓芸術家日ノHayatoさんとのコラボに、お正月からテンションMAX！



北辰一刀流千葉定吉・重太郎 末裔の千葉まいさんも、お祝いに！

2021年11月12月の高知は幸せなことに、コロナ感染者0の日が続きました。さまざまな新型コロナウイルス対策が行われる中、あちらこちらでイベントも開催され、飲食店にも随分活気が戻ってきたように思います。当たり前の日々のありがたさを感じ「どうぞ、このまま」と祈らずにはいられませんが、特に嬉しかったのが、龍馬生誕祭で披露された「よさこい鳴子踊り」の演舞でした。「よさこい祭り」は2年連続中止となっていましたので、ステージの踊り子さん、よさこい関係者はもちろん、中央公園に集まった観客達も感無量の気持ちだったと思います。

また、11月15日には、文化やスポーツなど様々な分野における活躍を称える『龍馬賞』の授与式もあり、36回目となる今年は、東京パラリンピックの銅メダリスト・藤原大輔選手が選ばれました。『龍馬賞』は坂本龍馬に続く人材の育成を目的に、1986年から毎年、県にゆかりのある個人や団体に贈られています。それは全く関係ないのですが、はりまやSTORYでは今年、誰でも自分の物差しで勝手に選べる「勝手に龍馬手拭い大賞」という賞を企画させていただきました。これは、はりまや町にある北村染工場が今年ギャラリーをオープンされたことを記念し考案したもので、北村さんが手掛ける「にわかてぬい『龍馬』」を被せた後、そのお姿で喜びを語ってもらうというもの。私もこの日、都会からUターンし、実家の農家を助けている友人の息子さんに授与させていただきました。皆さんも、是非！ご自分の周りで頑張っている人に授与してみてください。きっと龍馬さんが、さらなる勇気と力を与えてくれると思いますよ。



龍馬生誕祭2021 久しぶりのよさこい演舞に感無量！坂本龍馬の186回目の誕生日を祝うため、11月15日、高知市の中央公園で「龍馬生誕祭2021」が開催されました。会場には、高さ2メートルのバスデイクッキーが設置され、様々な飲食店ブースも賑わいを見せていました。



時代を超えた歴史ロマン！もしも、半平太や龍馬と現代で出会えたら：先生は武市半平太！黒江S介 高知で「サムライせんせい」展を9月に横山隆一記念まんが館で観てきました！その後コミック本も拝観。この作品を描くために高知に移住された黒江先生。馴染みのそこそこ出てきて面白かった！詳しくはこちらから！



状況により、営業時間の変更がある場合がございますので、HPをご確認ください。

【高知はりまや集合酒場】 FBHPはこちらから！

お腹が本能をくすぐる夕暮れ時。立ち寄れば、もう虜。こだわりのお肉と鉄板が奏でる音さえも美味しい【でべそはりまや店】や、パブリックビューイングスペースで仲間と一緒に盛り上げられる、美味しいコミュニティスペース【KOCHI STAND】、直送新鮮魚介がリーズナブルに味わえる大衆酒場【魚卓】、一つ一つ手包みの「高知名物屋台餃子」でお馴染み【いまだき安兵衛】など、高知の風土が育てたお店があなたの食欲を満たします。おひとり様や飲み会でも楽しく過ごせる「高知はりまや集合酒場（仮）」で、ちゃんと元気に！はしごもよし、じっくり飲むもよし。今日はどこに入ろうか？はからずも足を止めてしまう魅惑のスポット、ここにあります。



2022.2.14.Mon

St.Valentine

トリュフ ¥1,000
生チョコ ¥1,200
トリュフ&生チョコ ¥2,000

バレンタインチョコのご注文承ります。

※ご注文受付期間 1/4(火)～数量限定のため、お早めにご予約下さい。

※お渡し日 2/12(土)より当店にてお渡しします。

昼100名、夜83名の大入り、おめでとうございます！
第14回 ごふく美馬 伝統芸能の夕べ『桂吉坊一人会@濱長』

皆さんを応援したいと、高知の会場を濱長さんに決められたそうです。お弁当は持ち帰り、高座の余韻に浸りながらご自宅までゆっくり召し上がっていました。お客様のの中には、「落語でお鍋を食べる場面が本当に美味しそうだったので、明日はお鍋にしようと思いました」とおっしゃる方も。吉坊さん、さすがです！



「若手から中堅の域に差し掛かり、ますます芸に磨きが掛かった吉坊さんの話芸をご堪能いただき、大いに笑って長い自粛のストレスを発散していただければ幸いです」

ごふく美馬 二年ぶりとなる主催公演が、料亭濱長で開催されました。この落語会は昨年の夏に予定されていたそうで、会場もグリーンホールを押さえ、演出も決まっていたのですが、コロナの影響で延期を余儀なくされたとのこと。ずいぶん落ち着いてきた11月7日、コロナ禍で苦境にある料亭

